

第50回

早慶ホッケー定期戦

WASEDA vs. KEIO 50TH ANNUAL HOCKEY GAME

時：昭和51年10月17日(日)

所：駒沢第1球技場
(オリンピック記念公園)

<試合時間>

高校戦 11:00 ~ 12:15

超OB戦 12:20 ~ 13:15

OB戦 13:20 ~ 14:25

現役戦 15:00 ~ 16:15

<審判>

OB戦 大木一夫・福山孝吉

現役戦 倉橋六郎・山崎久寿

主催 慶應義塾体育会ホッケー部
早稲田大学ホッケー部(幹事校)
後援 三田ホッケー倶楽部・稻門ホッケー倶楽部

祝 第50回早慶ホッケー定期戦



スポーツ疲れをいやす
この一粒の爽やかな甘味!!



株式
会社

榮太樓總本鋪

東京都中央区日本橋一丁目
電話 (271) 7781・7791(代表)

早稲田大学ホッケー部
部長 星 川 長 七

第50回早慶定期戦を心から祝します。輝く伝統の灯しひを幾多の困難にも屈する事なく三田・稻門諸先輩及び関係各位の絶大なるご協力により定期戦がますます盛大に催すことが出来ます事は、当番校として感激に堪えません。早慶両校は幾多の名選手を輩出し、第10回オリンピック(昭和8年)に銀メダルを獲得、当時の主力メンバーがご健在にて、本日も多数ご来場され、後輩の活躍に注目されている事でしょう。近年早慶両校はホッケー界において稍実力を發揮出来ず、全日本学生選手権の優勝に縁が遠くなっています事は申訳ない次第です。願くば往年の実力を發揮出来るよう努力する事を誓います。

本日はご繁多のところ多数の来賓及び応援の皆様のご来場を厚くお礼申上げます。

稻門ホッケー倶楽部
会長 飯 田 英 三

第50回早慶定期戦……50回と云う数字を考え、感慨無量なものがあります。我々の先輩が戸塚グランド(早稲田)に慶應の強者を迎へ、第1回戦を行ってより50年の星霜を想い出し、よく続いたものだ!! と感無量です。

其の間早慶両校は好敵手(ライバル)として若き青春の情熱を傾け、喜び、悲しみを繰返しながら現在にいたりました。改めてホッケー界の先輩・慶應義塾関係各位に敬意を表します。

……さて第50回戦は……ワセダの選手は正々堂々“宿敵慶應”を撃破し、稻門に勝利の美酒を味はせて慾しい……とひそかに期待しています。願くば10月17日が天候に恵まれ両軍の健斗を念じながら最後に一言……ワセダよ!! 慶應に勝て……と本音を洩らしてご挨拶に代えます。

慶應義塾体育会ホッケー部
部長 鶴 木 真

「慶應は兄、早稲田は弟」、この言葉は動かし難い史実である。弟との試合となれば嫌が上にも意氣があがる。ホッケー三田会が開かれたたびに、聞きなれ譲りなれた話でもその都度、新鮮なよろこびにひたれるのは勝った早慶戦で、得点をあげたときの自慢話である。酒が入るほど話しあはれをとび、状況説明は詳細をきわめる。ホッケー早慶戦は今回、50回をむかえ、兄は弟の強さに脅威を感じつつ威儀を保つことに一層の努力を傾けている。

三田ホッケー倶楽部
会長 松 本 小 七

第50回記念早慶定期戦を迎えるにあたり皆様と共にこの佳き日をお祝い申し上げます。特に我々慶應義塾ホッケー部にとって、本年は創立70周年の記念すべき年で、その記念事業の一つとしてこのゲームが開催されることは二重の喜びでもあります。想い起せば大正13年、戸塚グランドで第1回戦が行われて以来今日まで、数多くの先輩が、幾多の好ゲームを展開、両校ホッケー部の栄光の歴史を築き上げると共に、日本ホッケー発展の推進力となって寄与して参りました。

本日の試合を機会に輝しい将来に向って両校ホッケー部が益々その努力と研鑽を重ね、さらに発展していくことを祈念致します。最後に大会の開催に際し当番校として大変御尽力下さった飯田稻門クラブ会長を始め同クラブの関係者の方々に厚く御礼申し上げる次第です。

部長 星川 長七
監督 古田 俊次

主将 後藤 幸男
主務 織井 隆司

(FW)

永島 誠二 (4) 早稲田学院
中西 久人 (3) 立命館
国兼 実 (3) 丹生
小泉 光市 (3) 早稲田学院
金井 保憲 (3) 早稲田学院
吉川 康徳 (1) 川棚

(FB)

織井 隆司 (4) 早稲田学院
戸井田 滋 (3) 早稲田学院

(GK)

小森 博之 (4) 横浜立野
尾崎 剛敏 (2) 丹生

(HB)

後藤 幸男 (4) 早稲田学院
渡辺 健司 (3) 早稲田学院
加々見 玄幸 (3) 早稲田学院



部長 鶴木 真
監督 内藤 修

主将 島田 厚
主務務正 田 実

(FW)

白木原 孝次	(4)	慶	応
西 村 豊	(3)	慶	応
但 中 秀 隆	(3)	慶	応
青 樹 茂 彰	(2)	慶	応
簗 内 行 雄	(2)	慶	応
大 森 文 彦	(2)	慶	応
豊 田 章 男	(2)	慶	応
野 口 敦 正	(1)	慶 応	志木

原 口 武 夫	(3)	慶	応
中 村 清 隆	(3)	慶	応
伊 吹 洋 二	(2)	慶	応
若 井 勝 広	(1)	慶 応	志木

(FB)

森 山 大 輔	(3)	慶	応
星 雅 己	(1)	慶	応

(GK)

(HB)

島 田 厚	(4)	慶	応
藤 田 芳 樹	(4)	慶	応

関 根 洋 次 郎	(4)	慶	応
内 藤 貴 詞	(2)	慶	応



<稲門ホッケー倶楽部>

(FW) 木原征治 (39年)
 佐野二郎 (39年)
 服部義邦 (42年)
 飯野吉保 (45年)
 細山武 (46年)
 飯塚勇 (46年)
 中原信義 (47年)
 藤井正二 (48年)
 藤井宗道 (48年)
 児玉健次 (49年)
 宮崎肇 (49年)
 井上栄之助 (51年)

(DF) 猪原本恭一 (37年)
 寺本崇 (39年)
 鈴木俊 (42年)
 古田俊次 (45年)
 小倉文雄 (46年)
 花山健次 (49年)
 江黒孝 (51年)

(GK) 山本英輔 (38年)
 竹村直樹 (46年)

<三田ホッケー倶楽部>

(FW) 高瀬宗救 (47年)
 重元明雄 (47年)
 松岡孝 (49年)
 玉置隆 (49年)
 武宮徹郎 (49年)
 吉田修 (51年)
 川島憲明 (51年)
 小島浩介 (51年)
 牧村光洋 (51年)

(DF) 松尾修介 (46年)
 重田定太郎 (48年)
 山口恒夫 (48年)
 高梨睦郎 (49年)
 西田吉徳 (50年)
 伊東良平 (51年)

(GK) 星川忠延 (46年)
 藤田祐三 (51年)

第1回早慶ホッケー定期戦出場メンバー

<WASEDA> VS. <KEIO>

田口	R W	泉岡
○相原 <small>(現)黒田</small>	R I	佐野
小口	F C	天野
名坂	L I	○浅川
垂水	L W	○遠山
○紀藤	R H	○岩田
柳沢	H C	沢津
○内海 <small>(現)朝長</small>	L H	倉谷
齊藤	R B	長井
○大久保	L B	曾川
小里	G K	重松

《○印=生存者》

<記念カップ、ブロンズ寄贈>

1. 記念杯 早稲田大学総長
 慶應義塾塾長

1. O B 杯 三田ホッケー倶楽部
 稲門ホッケー倶楽部

1. メダリスト記念ブロンズ
 (ロスアンゼルス・オリンピック出場)
 (監) 広瀬藤四郎(早) 今治彦(早)
 (主) 浅川増幸(慶) 浜田駿吉(慶)
 小西健一(早) 左右田秋男(早)
 (故)中村英一(慶) 猪原淳三(早)

<早稲田大学附属高等学院>

部長 山田泰完 主将 穴井律郎
 監督 後藤幸男 主務 青木岳彦

(G K) 田 場 茂 (2)
 (R B) 穴 井 律 郎 (3)
 (L B) 森 樹 (2)
 (R H) 千 代 裕 一 (2)
 (C H) 丸 橋 大 介 (2)
 (L H) 稲 森 哲 (2)
 (R W) 広 畑 伸 雄 (1)
 (R I) 高 岡 真 琴 (2)
 (C F) 斎 藤 剛 (3)
 (L I) 青 木 岳 彦 (3)
 (L W) 竹 内 淳 (2)
 (SUB) 富 安 哲 (2)
 " 田 瀬 弘 (1)
 " 柳 下 真 朗 (1)
 " 早 部 良 保 (1)
 " 吉 田 真 晓 (1)
 " 佐 藤 圭 树 (1)
 " 前 田 康 勝 (1)
 " 佐 々 木 健 志 (1)

<オール慶應義塾高等学校>

部長 藤森貞明・斎藤顕
 監督 石井康美 主将 宮田泰郎

(F W) 佐 々 田 俊 (3)
 中 島 康 (3)
 乾 岸 伊 作 (3)
 宮 坂 明 (3)
 腰 横 宏 (3)
 飯 橋 之 (3)
 落 岸 菲 (3)
 阿 雨 幸 (3)
 遠 利 正 (3)
 大 片 合 (3)
 片 昆 賀 (3)
 宮 宮 宮 (3)
 岡 岡 岡 (3)
 藤 光 晋 (3)
 森 岡 一 (3)
 岡 岡 一 (3)
 岡 岡 依 (3)
 岡 岡 豊 (2)
 岡 岡 邦 (3)
 岡 岡 邦 (2)
 岡 岡 邦 (3)
 岡 岡 邦 (3)
 岡 岡 邦 (3)
 (D F) 佐 々 木 二 (3)
 (G K) 萩 原 (3)
 小 久 保 (1)

GREAT
PLAYERS *Go for*

Hans Raj Mahajan's

HOCKEY STICKS

ホッケー用品全般
 製造並直輸入



株式会社 日本体育

〒105 東京都港区西新橋1-10-1 TEL. 03(591)9351㈹

スポーツは生きる歓び

勝利を呼ぶ3本線




adidas
アディダス
スポーツウェア

Made under Adidas license

この製品は西独アディダス社との技術提携により、日本で製造しました。

日本総発売元/株式会社デサント